

山口市芸術家育成支援事業

第8回やまぐち新進アーティスト大賞

第8回やまぐち新進アーティスト大賞受賞者

やまぐち いさお
山口 功

応募アーティスト数 : 9名

最終選考ノミネート者 : 5名

たかはし もとすけ
高橋 基介 (29)

テラダ サチコ (30)

はらだ かずあき
原田 和明 (41)

む か う
夢果有 (78)

やまぐち いさお
山口 功 (33)

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

(総 評)

8回目を迎えたやまぐち新進アーティスト大賞の選考は、応募作品の閲覧、投票による一次審査の結果、上記5名の作家に絞り込まれた。続いて、委員によるフリーな感想意見を交換した後、大賞候補者として満票を獲得していた原田和明氏と山口功氏について、挙手により、委員全員一致で、山口氏が大賞として選出された。山口氏は、最近年のメディア社会にあって、人間関係が多様化するなか、自分を守り、他者との部分的なつながりで生きている“現代人”としての自分像を、アート作品に昇華させ、山口市内外で、展示活動、文化多元主義に立った学習教育の“場”を設ける等、近未来を展望した活動を展開している作家である。

(第8回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

現代的な洗練された感覚で造形されたユニークで存在感のある審美性が作品として具体化されている。更には、将来において魅力的な発展をイメージさせる強い躍動感を有している。空間をまきこむアイデンティティには可能性を感じ、新しい作品も見たい欲求にかられる。これからは、山口を創作活動の基盤として定着させて取組まれ、地域からインスパイアされた感性を練磨した作品を通して、世界へ向けて発信されることを期待したい。

(第8回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 井生 文隆)

・・・第8回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

井生 文隆 (山口県立大学教授)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸専門監)

兼原 啓二 (山口短期大学教授)

斎藤 郁夫 (山口県立美術館副館長)

大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)